

RealTimeTracker 2007 Beta

ユーザーマニュアル

1	イントロダクション	2
1.1	プログラムについて.....	2
1.2	RealTimeTracker のこれまで	2
1.3	RealTimeTracker の機能.....	2
2	インストール	3
2.1	システム要件.....	3
2.2	インストール.....	3
3	アクティベーション	4
4	サーバーへの接続	6
5	機能	8
5.1	作業時間トラッキングと送信	8
5.1.1.	タスクトラッキング	8
5.1.2.	実績作業時間の送信	10
5.1.3.	リストの更新	11
5.1.4.	タスクリストをクリアする	11
5.2	RTT セットアップ	12
5.2.1.	自動スタート	12
5.2.2.	実績作業時間の自動送信	13
5.2.3.	タスクリストの自動更新	14
5.2.4.	現在の作業だけをキープの自動化.....	15
5.2.5.	表示言語の選択.....	16
5.2.6.	タスクリスト - 期間の設定	17
5.3	その他の機能.....	18
5.3.1.	新しいタスクを作成	18
5.3.2.	タイムシートに移動	19
5.3.3.	プログラムの終了	20
6	アンインストール	20

このドキュメントには、RealTimeTracker 2007 Beta のインストール方法と使い方が記載されています。

1 イン트로ダクション

1.1 プログラムについて

Bogdanov and Associates の RealTimeTracker 2007 Beta (RTT) は、Project Server 2007 で定義されたタスクについて、各タスクに割り当てられたメンバーの正確な作業時間を吸い上げるためのプログラムです。

プログラム自体はクライアントマシンにインストールされますが、プログラムを Project Server 2007 と連携させるためには、Project Server 2007 のインストールされたサーバーと接続する必要があります。


1.2 RealTimeTracker のこれまで

Microsoft Project 2003 用に開発された最初のバージョンは、2004 年春に開発され、以来、定期的にアップグレードを行ってきました。最新バージョンの RealTimeTracker 2007 Beta は、下記サイトからダウンロードすることができます。 <http://www.bogdanov-associates.com/eng>.

すでに RTT v1.0.xxxx or v2.0.xxxx 等の以前のバージョンがインストールされている場合、最新バージョンの RTT をインストールする前に、過去バージョンの RTT をコントロールパネルのプログラムの追加と削除画面でアンインストールしてください。

1.3 RealTimeTracker の機能

RTT の機能のいくつか：

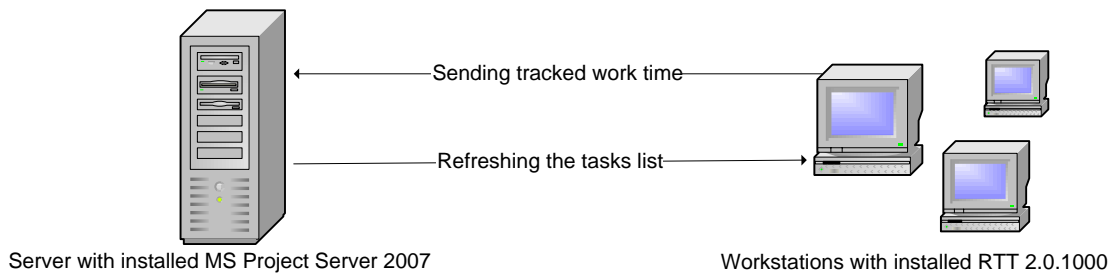
1. ユーザーが自分に割り当てられているタスク一覧を取得することができる（設定により、定期的に一覧を更新できる）（5.1.3, 5.2.3 をご参照）
2. 各タスクのためにユーザーが費やした作業時間をトラッキング（5.1.1 をご参照）.
3. トラッキング対象タスクを簡単に切り替え（ダブルクリックで）（5.1.1 をご参照）.
4. 累積データをサーバーに送信（設定により、定期的に自動送信できる）（5.1.2, 5.2.2 をご参照）.
5. RTT によるデータ更新と PWA 入力による更新のデータ競合の解決（5.1.2 をご参照）.
6. プログラム実行中に表示される  アイコンをクリックすると、メインウィンドウが開きます（エラー! 参照元が見つかりません。 をご参照）.
7. タスク状況に関する情報を表示（5.1.1 をご参照）.
8. タスクの開始日、終了日、総作業時間、積み上げ作業時間、残存作業時間情報を表示（5.1.1 をご参照）.
9. PWA のタスク新規作成ウェブページへのリンク（5.3.1 をご参照）.

10. PWA のタイムシート・ウェブページへのリンク(5.3.2 をご参照).
11. Microsoft Windows 起動時に、RTT も自動スタートさせることができる (エラー! 参照元が見つかりません。 をご参照).
12. ユーザーが割り当てられているタスクのトラッキング目的に応じて、表示期間を変更できる (5.2.6 をご参照).
13. タイムシートやプロジェクトから削除済みのタスクの判別(5.1.3 をご参照).
14. 言語インターフェイスを選択できる (5.2.5 をご参照).

2 インストール

2.1 システム要件

プログラムは、Project Server のインストールされたサーバーにアクセスできるクライアントマシンにインストールしてください。RTT を使い始める前に、各クライアントマシンで接続プロパティを競ってします (par.4 をご参照ください)。



クライアント PC に必要な最小限のソフトウェアは：

- Microsoft Windows XP
- Microsoft .NET Framework 2.0

2.2 インストール

インストールとアンインストールは、マシンの管理者権限を持っているユーザーで実行してください。

1. インストールとアンインストールは、マシンの管理者権限を持っているユーザーで実行してください。
2. もし既に以前のバージョンをインストール済みの場合は、新しいバージョンの RTT をインストールする前に、以前のバージョンをアンインストールしてください。
3. インストール用ファイルを www.bogdanov-associates.com からダウンロードして解凍してください。
4. **RealTimeTracker_2007_Beta.msi** を実行してください

5. インストラクションに従ってください

“Program is installed successfully” というメッセージが出て、インストールが正しく終了したことを確認してください。使い始める前に、アクティベーションが必要です (par.3 をご参照).

3 アクティベーション

アクティベーションは、マシンの管理者権限を持っているアカウントで行ってください。

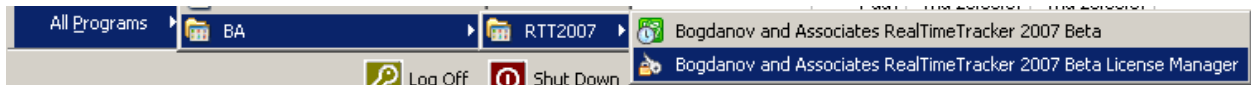
1. RTT のアクティベーションのためには、” License Manager “ を実行します：
スタート→

プログラム→

BA→

RTT→

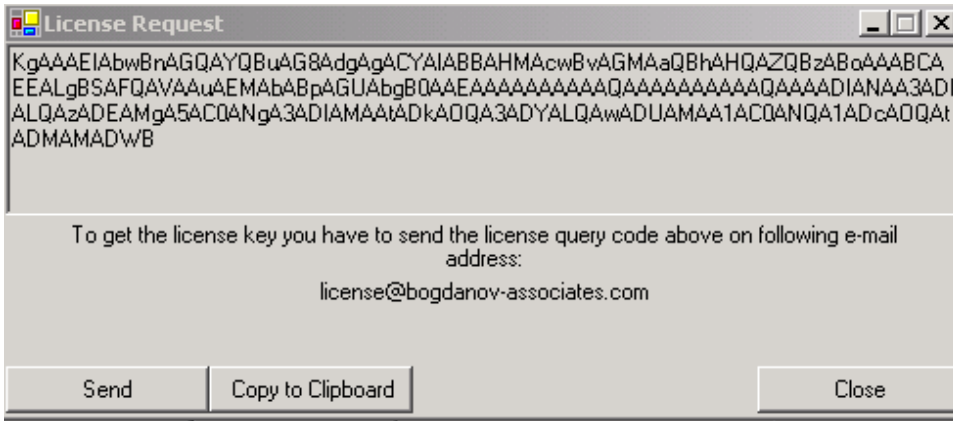
Bogdanov and Associates RealTimeTracker 2007 Beta License Manager:



2. 上記を実行すると、下記の画面が表示されます:



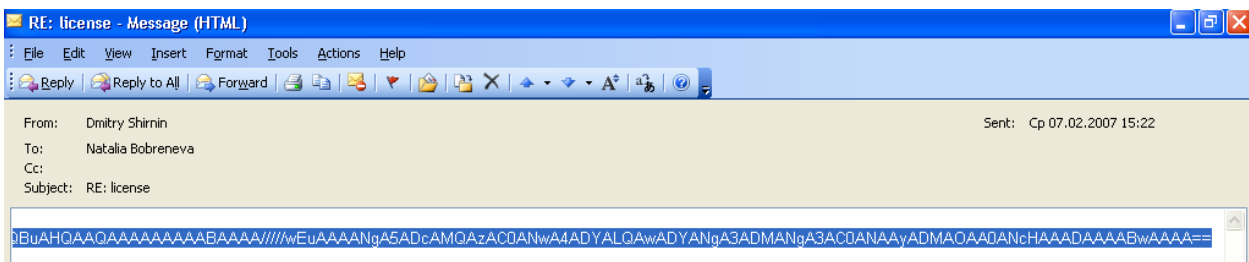
3. «Request» をクリックしてください。すると、キーを要求するための画面が立ち上がります。



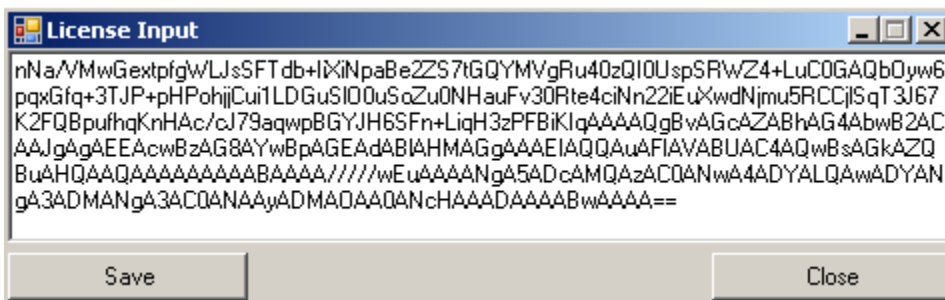
4. «Send» をクリックすると、キー要求用のメールが自動作成されます。そのメールをそのまま送信してください。

メールご送信から一営業日以内に、キーをお送りします。週末や休日の場合は、キーの送信が遅くなりますのでご了承ください。

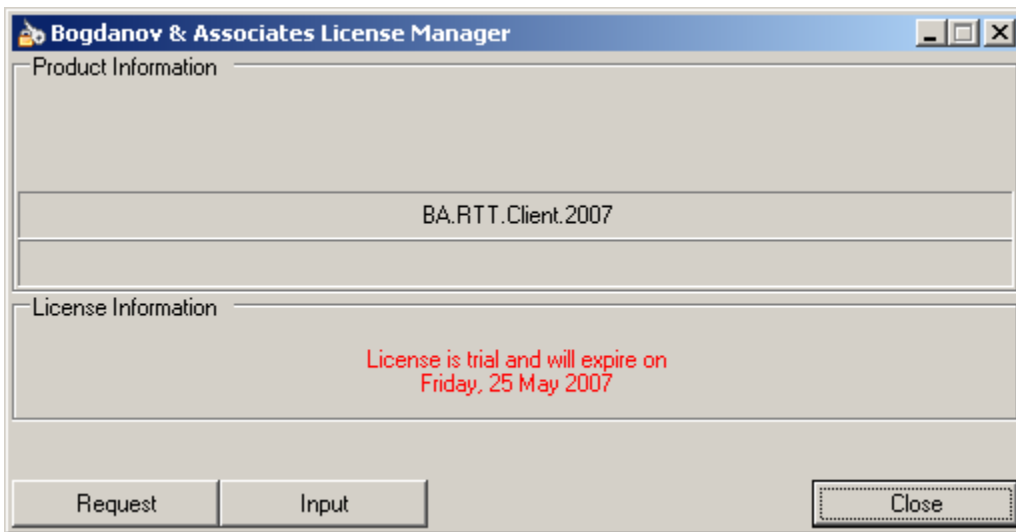
5. キーが送られてきたら、そのキーをコピーしてください。



6. キーを完全にコピーしたことを確認してください。キーの一部がコピーされていないと、プログラムはアクティベーションできません。
7. もう一度 “License Manager” を起動してください。ステップ 1-2 と同じようにして、しかし、ステップ 2 では、“Input” をクリックしてください。
8. “License Manager” 画面で、キーを貼り付けてください:



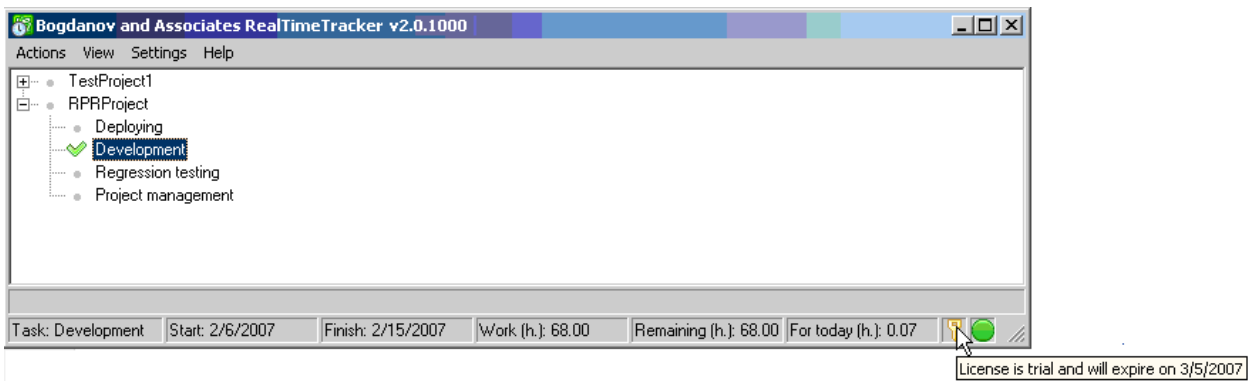
9. “Save” をクリックしてください。
10. “License Manager” 画面にトライアル期間が表示されます。その評価期間内は、すべての機能を利用することができます:





トライアルではなく、正式なキーをインプットした場合は、使用期間制限はありません。

ライセンスは、すべてのクライアントマシンにインストールする必要があります。各クライアントマシンの RTT は、すべてのユーザーが使用することができます。

ライセンスキーが正しく保存されると、その旨のメッセージが表示されます。



ライセンス情報は、RTT ウィンドウの右下に表示されます：

-  - ライセンスはインストールされました;
-  - ライセンスはインストールされていません.

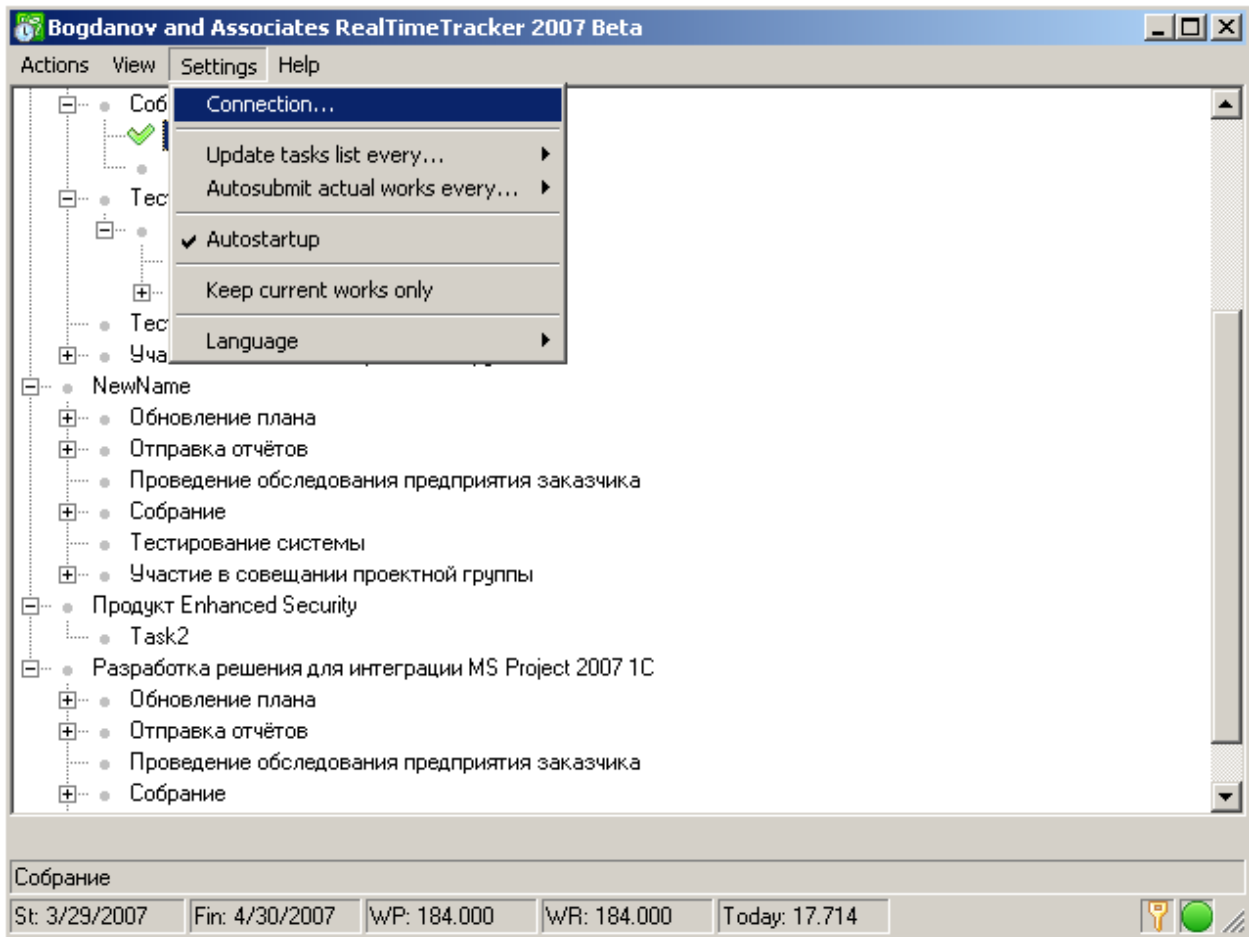
サインをポイントすると、ライセンスに関する情報が表示されます。

4 サーバーへの接続

RTT のアクティベーション後に、Project Server 2007 への接続プロパティを設定する必要があります。サーバーがひとつの場合は、設定は最初に RTT を起動した時の一回だけで済みます。

1. RTT を起動 (スタート→プログラム→BA→RTT→Bogdanov and Associates RealTimeTracker 2007 Beta).

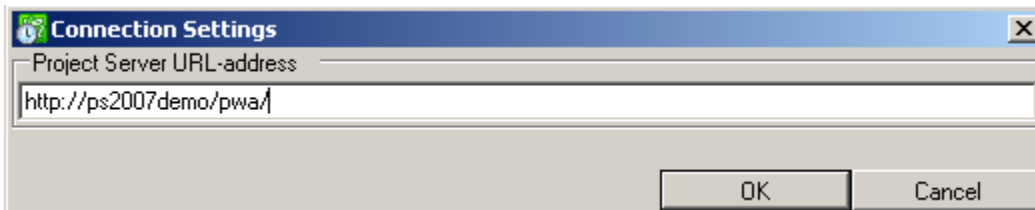
2. メインメニューで、設定→接続… (プログラムの初回起動時は、このウィンドウは自動的に開きます).



3. 設定情報を保存した後、下記のアイコンが RTT ウィンドウの右下に表示されます:

- - 接続設定済み;
- - 接続情報なし.

4. Project Server アドレス (URL) の入力:



注意:

プログラム開始時に、Project Server でのレポート方法を” 期間内の完了済み作業時間” に設定する必要があります。これは、PWA のサーバー設定→タスクの設定と表示で、設定できます。各プロジェクト

トに応じて、別々のトラッキング方法を使っている場合、RTTは”期間内の完了済み作業時間”でトラッキングされているプロジェクトからのみタスクを読み込んで表示します。

5 機能


RTT をスタートさせるには、スタート→すべてのプログラム→BA→RTT2007→Bogdanov and Associates RealTimeTracker 2007 Beta をクリックしてください。

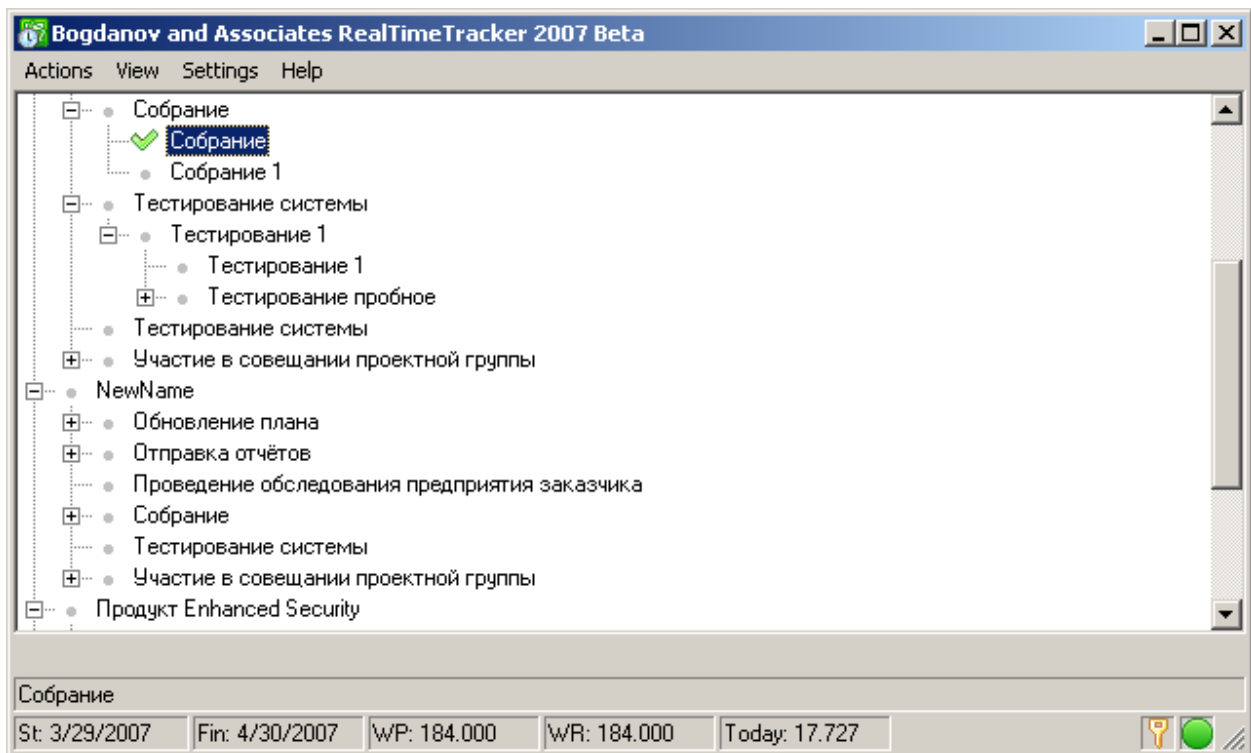
5.1 作業時間トラッキングと送信

5.1.1. タスクトラッキング

1. タスクのタイムトラッキングを開始するには:

- タスク名をダブルクリック
- タスクを選択して、“Enter” を押す

トラッキングされたタスクには、緑色のフラグ  が付きます。



注意:

RTT で入力できる最短時間は、36 秒(0.01 時間) です。

2. タイムトラッキングを終了するには:

- 当該タスクを再度ダブルクリックします (緑色のフラグが消えます)

- 他のタスクのタイムトラッキングを開始します (その前のタスクの緑色のフラグが消えます).

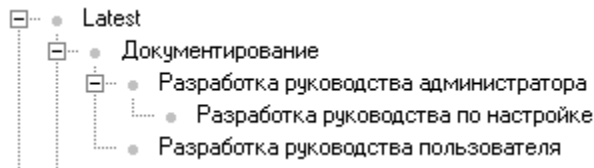
RTT ウィンドウ下部には情報フィールドがあり、選択されているタスクの属性が表示されます：

- タスクのタイトル
- 予定されている開始日と終了日
- 作業時間 - そのタスクで費やされる予定の時間
- 残存時間 - 予定作業時間から実績作業時間を引いたもの。このフィールドは、実績作業時間がサーバーに送られてタイムシートが送信されて、初めて更新されます。
- 本日の作業時間 - そのタスクのために、現時点の日に費やされた時間

注意:

タスク上でクリックすれば、現在トラッキング対象でないタスクも含め、すべてのタスクの情報を表示することができます。

自分に割り当てられているタスク一覧やサマリータスクを表示するには、プロジェクト名をダブルクリックしてください：




下記のような黒フォントは、トラッキング可能なタスクです：


- Technical support

下記のような灰色フォントは、トラッキング不可能タスクです。理由は、トラッキング方法として、” 期間内の完了済み作業時間” 設定を利用していないことです。

- Task1

 の付いているタスクは、タイムシートから削除されたタスクです。このタスクをポイントすると、下記のようなポップアップが表示されます：

1
This task deleted from the Timesheet.

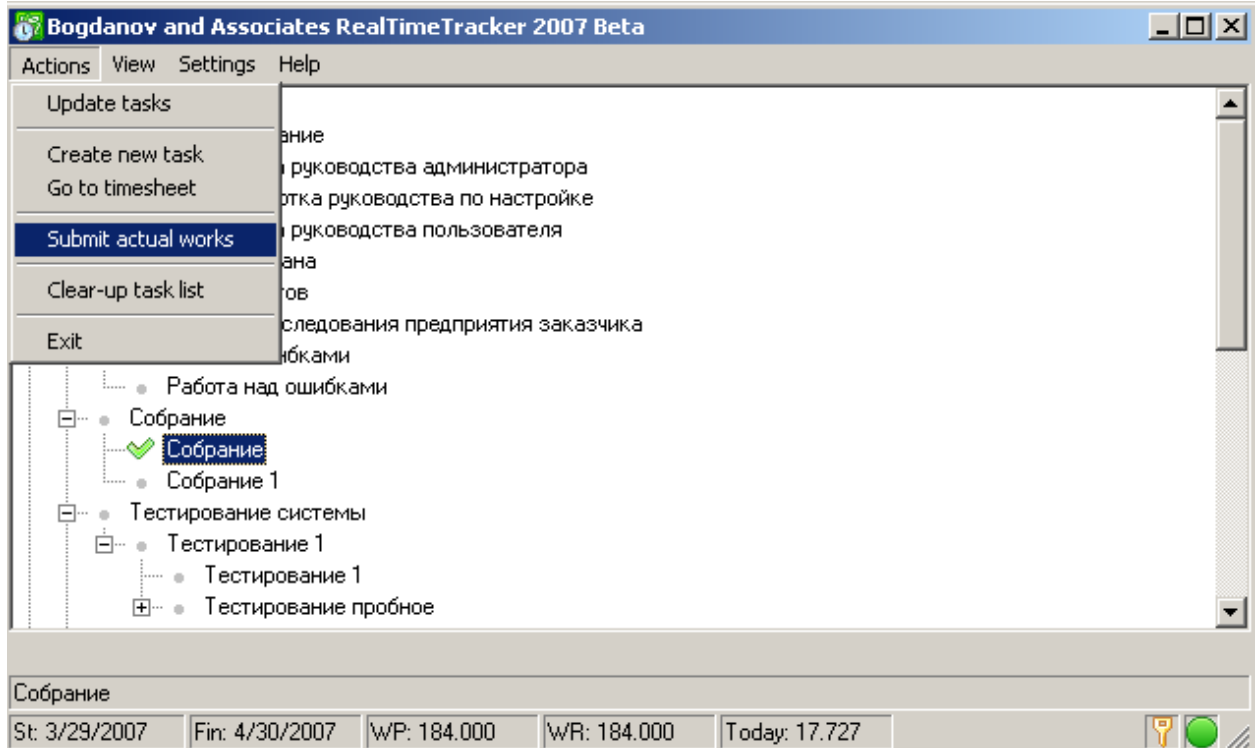
 の付いているタスクは、プロジェクトから削除されたものの、タイムシートからは削除されていないタスクです。このタスクをポイントすると、下記のようなポップアップが表示されます：

Top Level
This task deleted from project [08-02] but available in the Timesheet.

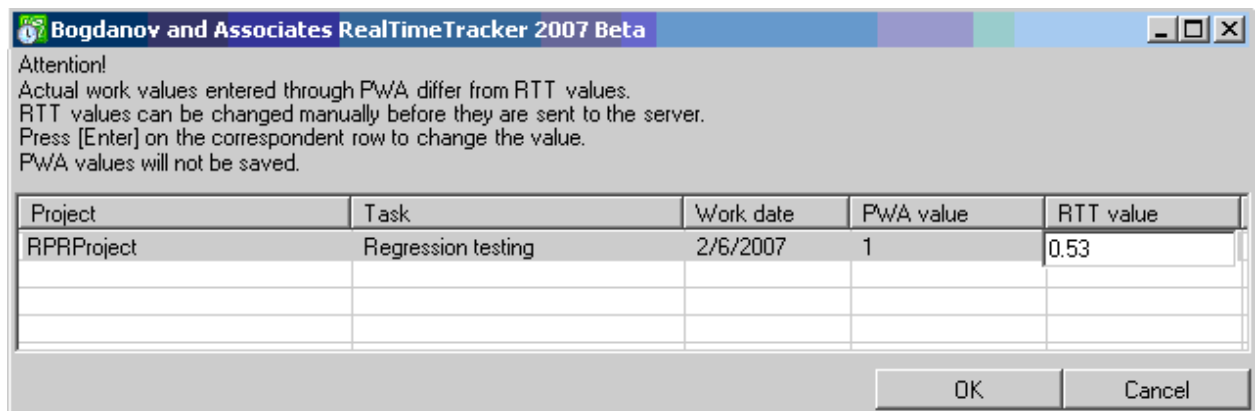
5.1.2. 実績作業時間の送信

タイムシートを送信する期間を設定できます (5.2.2.をご参照).

1. 実績作業時間をサーバーに送り、タイムシートを送信するには、アクション→実績作業時間の送信 を選択してください:



2. RTT がタイムシートのデータを送信する前に、タイムシートに実績作業時間が入力されており、かつ RTT からの報告時間のほうが短い場合、下記のウィンドウが表示されます:



上記ウィンドウで実績作業時間を修正することができます。
二つの値が表示されます:

- “PWA の値” カラム - PWA 上で手入力された値
- “RTT の値”カラム - RTT からの値

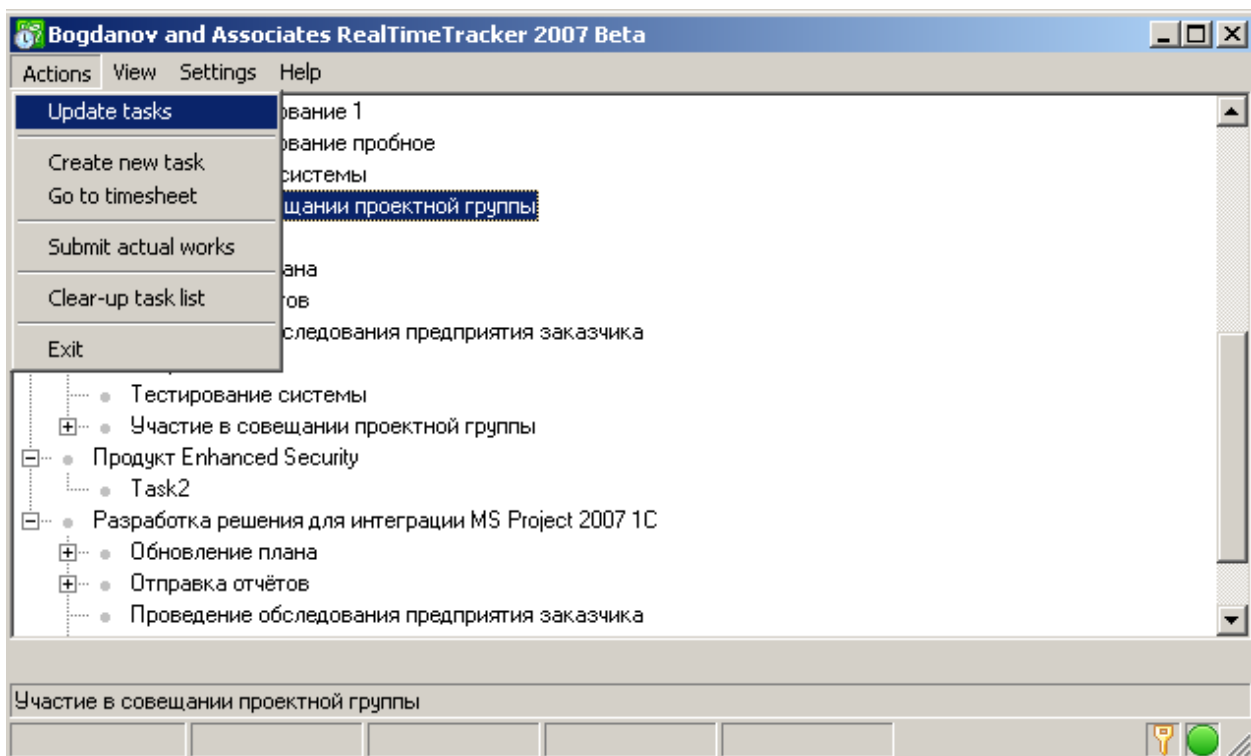
注意:

送信する場合、RTT の値が送信され、PWA の値は上書きされます。

3. 必要であれば、“RTT の値”を修正してください。
4. そのためには、修正するタスクを選択して“Enter”を押すか、ダブルクリックしてください。

5.1.3. リストの更新

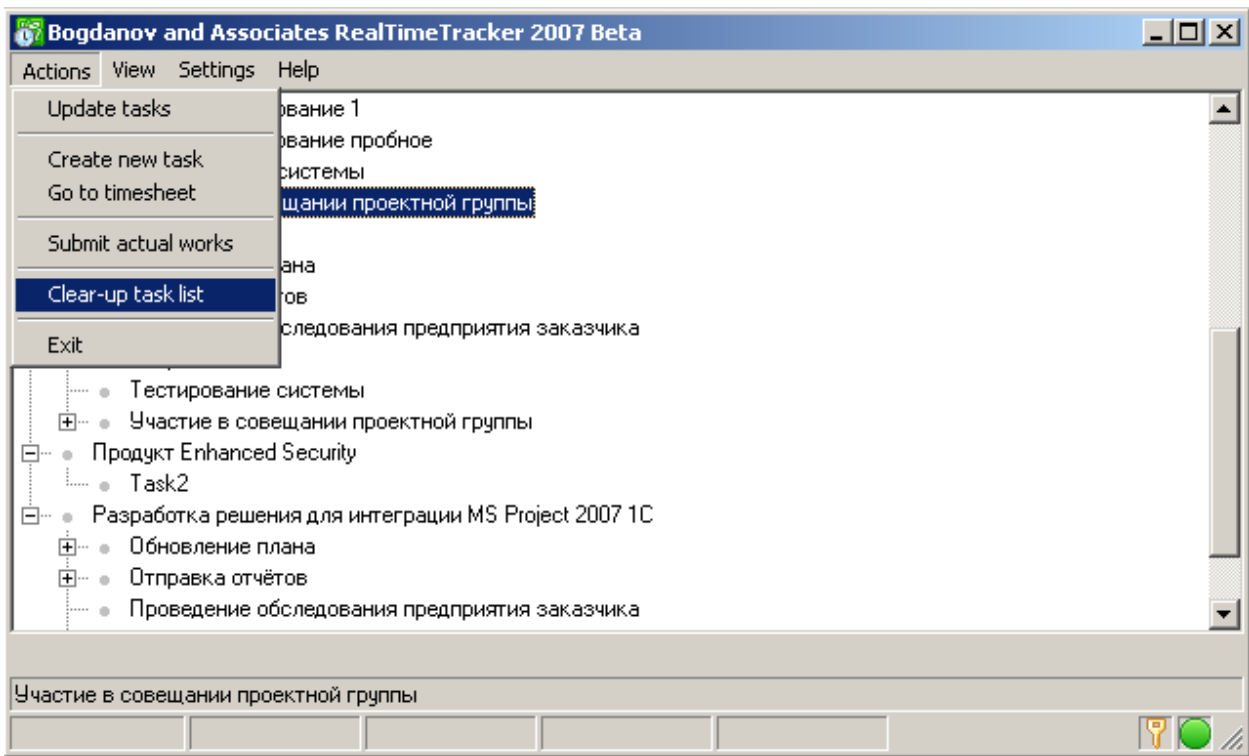
1. アクション→タスクの更新 を選択して、タスクリストを更新できます。これによって、リストは、現在の Project Server と同期されます：新しく割り当てられたタスクがリストに追加され、終了したタスクや自分への割り当てのなくなったタスクがリストから削除されます。





リストには、新しく割り当てられたタスクと、以前から割り当てられていたタスクの変更が表示されます。

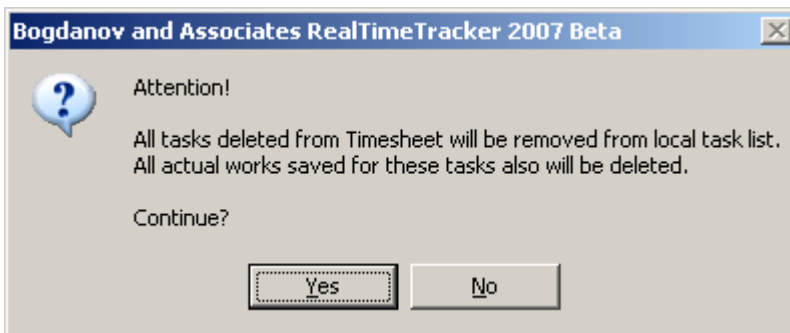
5.1.4. タスクリストをクリアする

1. PWA でタイムシートから削除済みのタスクを RTT から削除するには、アクション→タスクリストのクリア を選択します：



タイムシートから削除されて  マークが付いたものを、“タスクリストのクリア”でリストからクリアすることができます。なお、プロジェクトから削除されたタスクには、 マークが付いています。

2. プログラムは注意を喚起するメッセージを表示します:

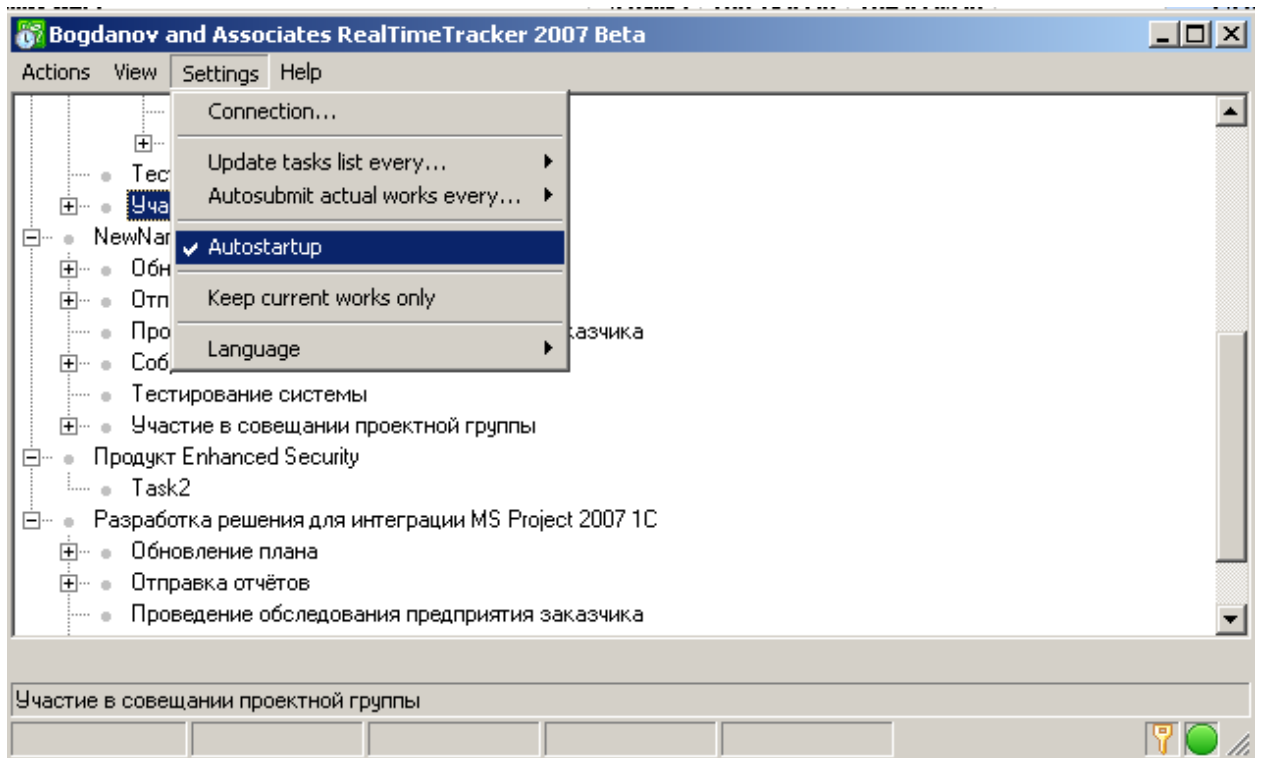



3. “いいえ”をクリックすると、メインウィンドウに戻ります。
4. “はい”をクリックすると、タイムシートあるいはプロジェクトから削除されたタスクが、RTT から削除されます。

5.2 RTT セットアップ

5.2.1. 自動スタート

1. 自動スタートオプションを使うと、マシンログイン時に、RTT を自動スタートさせることができます。「設定→自動スタート」で設定します。



自動スタートが選択された場合、マシンへのログイン後に  アイコンがタスクバーに表示されます。RTT稼動中は、上記のアイコンがタスクバーに表示されます。アイコンをクリックすると、RTTウィンドウが表示されます。

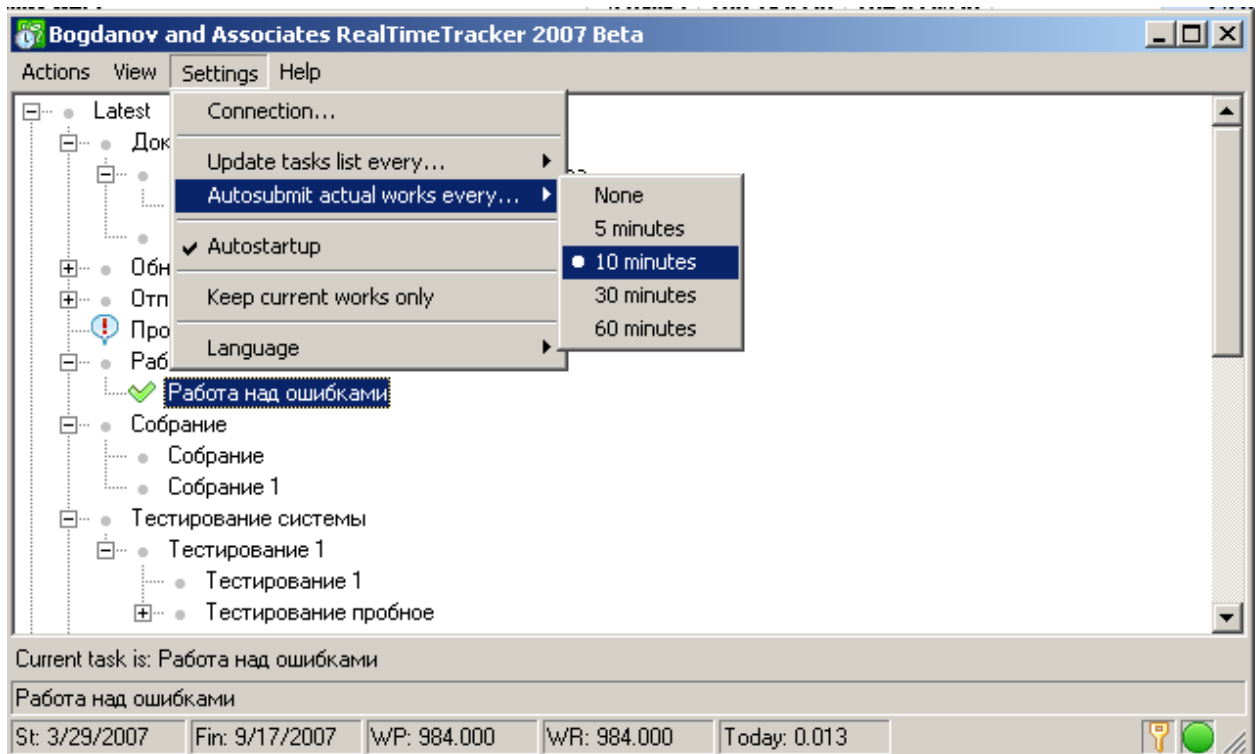
下記の方法で RTT を終了すると、稼動を中止し、タイムトラッキングを行いません：

- アクション→Exit
- RTT ウィンドウを閉じる

ウィンドウを最小化すると、ウィンドウは隠れますが、RTT は実行を続けます

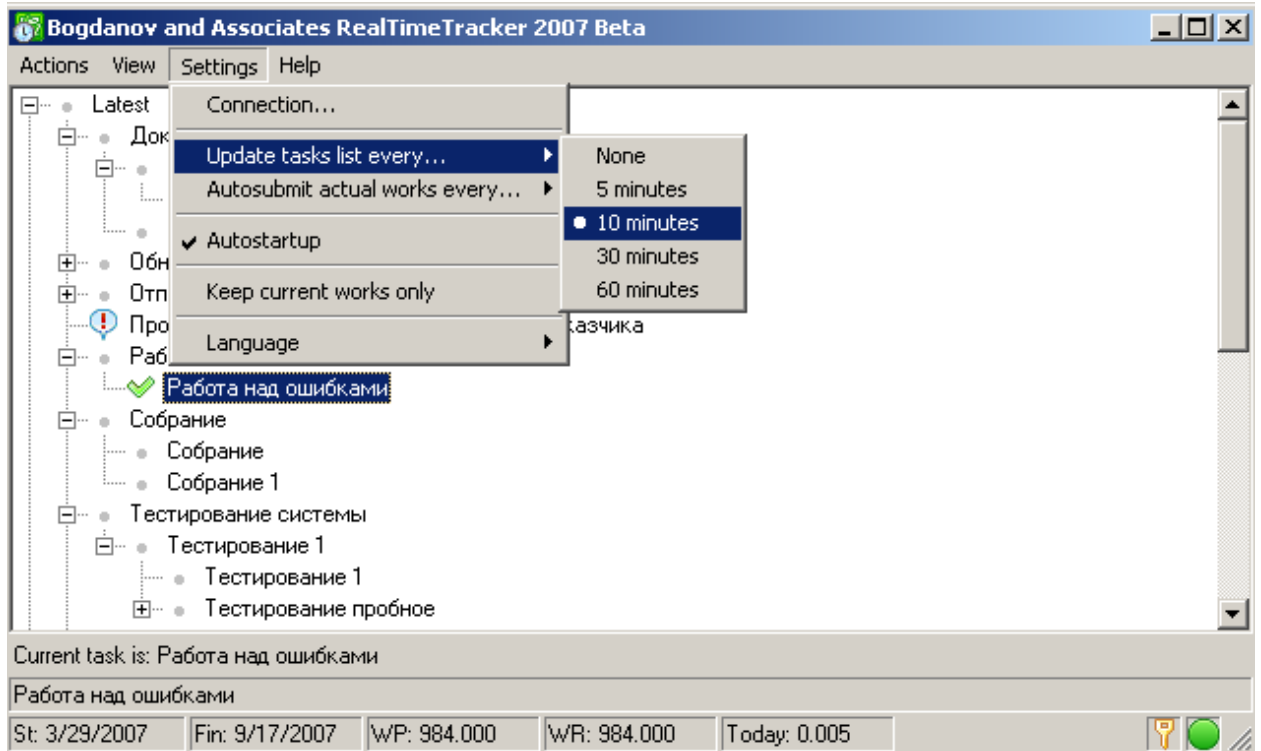
5.2.2. 実績作業時間の自動送信

1. 設定→”実績作業時間の自動送信間隔：毎...”を使って、5, 10, 30, 60 分ごとにデータを自動送信することができます。あるいは、自動送信を行わないようにすることもできます。



5.2.3. タスクリストの自動更新

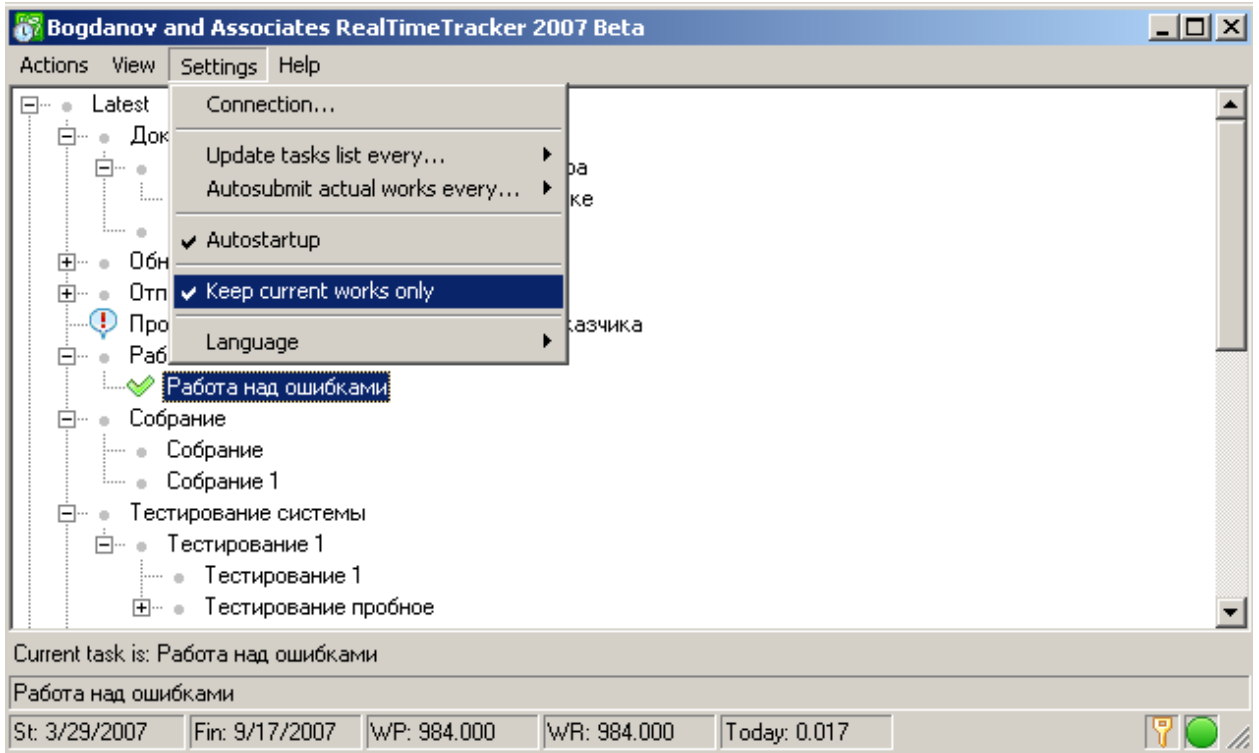
1. 設定→"タスクリストの更新間隔：毎.."を使って、5, 10, 30, 60分後とに PWA タイムシートからデータを受信できます。あるいは、自動受信を行わないようにすることもできます。



5.2.4. 現在の作業だけをキープの自動化

初期設定では、RTT は、利用開始から現在までのすべてのデータをローカルに保持しています。これは、たとえば、Project Server データが壊れた場合の予防策になります。

1. この設定を変更して、ローカルディスク空き容量を増やすには、設定→”現在の作業だけをキープ”を選択します。

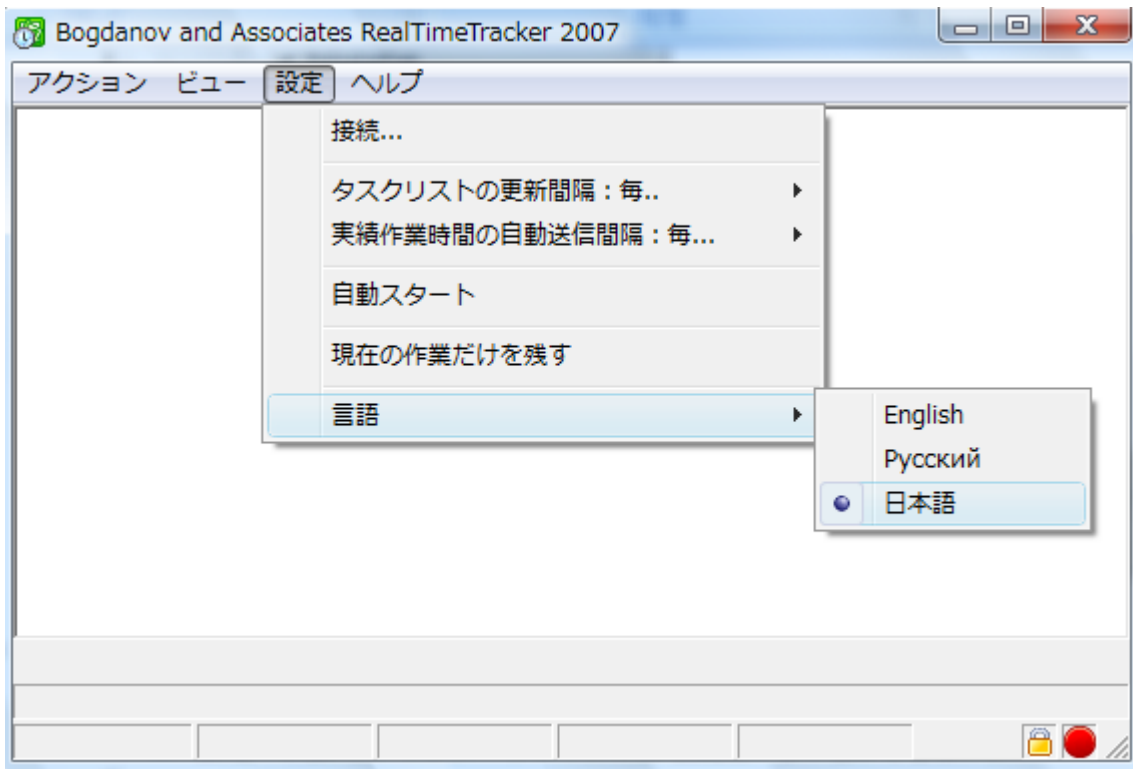


5.2.5. 表示言語の選択

1. 設定→言語 で、インターフェイス言語を変更することができます。

注意:

原稿バージョンでは、日本語、英語、そして、ロシア語から選択できます：



5.2.6. タスクリスト - 期間の設定

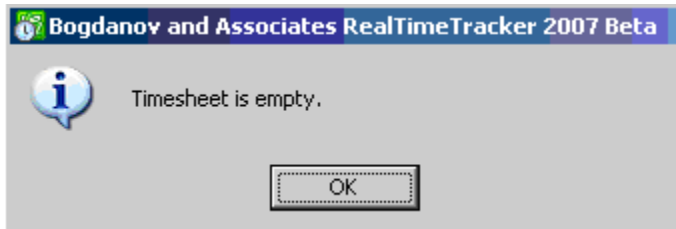
1. ビュー→期間で、タイムトラッキング対象の期間を選択できます。

注意:

これらの期間は、PWA で管理者がタイムシート用に設定した期間と同じです。

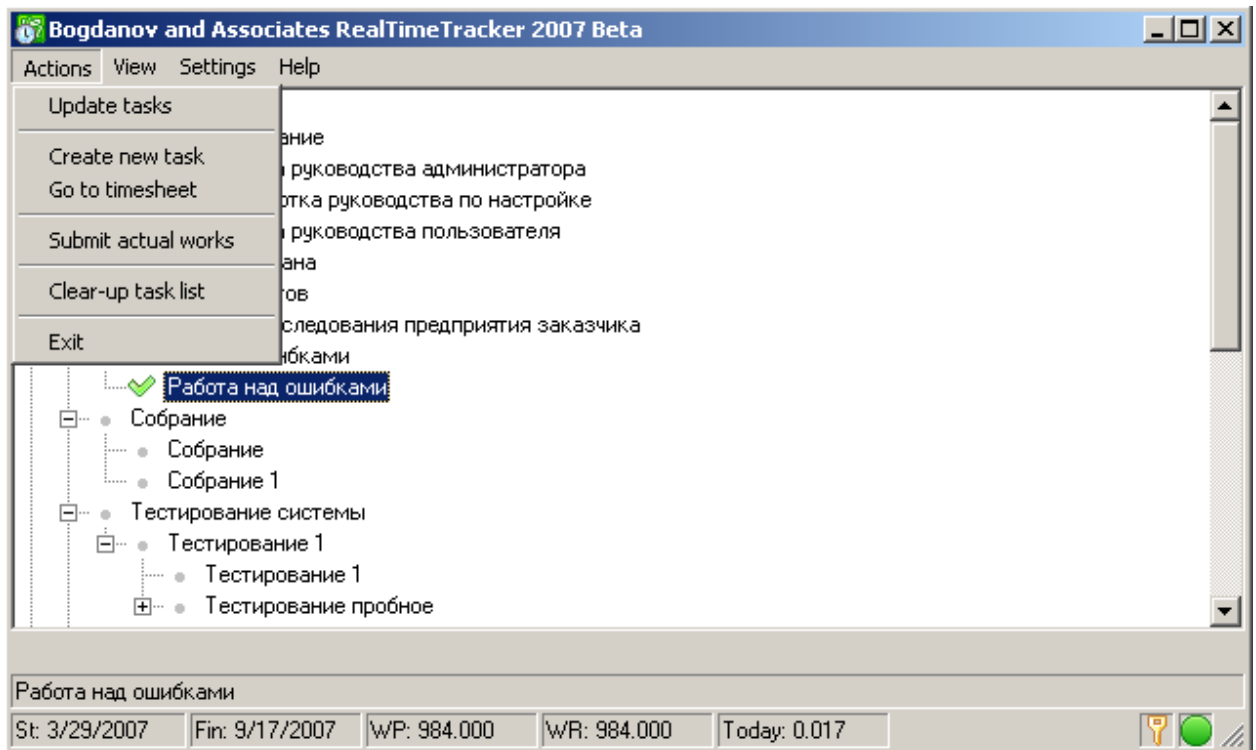


ユーザーにタスクが割り当てられていない期間を選択した場合、RTT は下記のメッセージを表示します:



5.3 その他の機能

“アクション” には、その他の機能が用意されています:



5.3.1. 新しいタスクを作成

1. 新しいタスクを作成する PWA ページに移動します。

New Task

Submit

Cancel

1. Task Location

Where would you like the task to appear in the project plan?

Project:

Select Project ▾

Subordinate to Summary task:

▾

2. Name

Type the name of the new task or select an existing task to assign to yourself.

 New Task

Task name:

 Existing Task


Assign the following task to myself:

▾

3. Task Dates

Specify the start and finish dates of the task to be added to the project plan.

Start:

2/14/2007 

Finish:

2/14/2007 

4. Timesheet

Do you want to add this new task to your current timesheet?

 Add Task to Timesheet

5.3.2. タイムシートに移動

1. PWA のタイムシートに移動します。

My Timesheet

New | Actions | Go To | Settings | View: My Timesheet


Print | Add Lines | Delete Lines | Replace Actual with Planned | Import Task Progress | Refresh

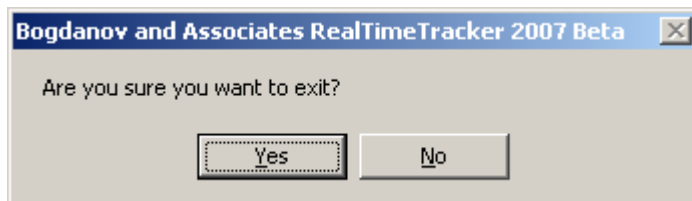
<input type="checkbox"/>	Project Name	Task name/Description	Comment	Billing Category	Approval Status	Wed 2/7	Thu 2/8	Fri 2/9	Sat 2/10	Sun 2/11	Mon 2/12	Tue 2/13
<input type="checkbox"/>	08-02	1		Standard			0.067h					
			Planned				8h					
<input type="checkbox"/>	08-02	2		Standard			1.798h	28.103h	23.978h	24h	23.985h	13.0
			Planned				8h	8h				
<input type="checkbox"/>	08-02	t3		Standard			1.038h					
			Planned				8h	8h			8h	8h
<input type="checkbox"/>	1	Task1		Standard								
			Planned			8h	8h	8h			8h	
<input type="checkbox"/>	1	Task1		Standard								
			Planned			8h						
<input type="checkbox"/>	Administrative	Auto-generated		Administrative	●							
			Planned									
<input type="checkbox"/>	Administrative	Auto-generated		Sick time	●							
			Planned									
<input type="checkbox"/>	Administrative	Auto-generated		Vacation	●							
			Planned									
			Total				2.904h	28.103h	23.978h	24h	23.985h	13.0

Total: 116.05h

Recalculate Save Save and Submit Cancel

5.3.3. プログラムの終了

1. RTT 作業の完了は、アクション→Exit、あるいは右上の  をクリックしてください
2. すると、下記のウィンドウが表示されます:



3. «No» をクリックすると、メインウィンドウに戻ります
4. «Yes» をクリックすると、プログラムが終了します。

6 アンインストール

プログラムのアンインストールは、マシンの管理者権限を持つアカウントで実行してください。

プログラムは通常の方法（コントロールパネル→プログラムの追加と削除）でアンインストールできます。

ご質問に関しては、support@bogdanov-associates.com（英語、ロシア語）か、info@add-in-park.com までお知らせください。